

このページは切り取って、「枕崎市防災マップ」(21ページ)にとじ込んだり、ご家庭の目に付くところに掲示するなどして、ご活用ください。

令和3年5月20日から

警戒レベル 4 ひなんしじ 避難指示で必ず避難

ひなんかんこく 避難勧告は廃止です

警戒レベル	新たな避難情報等	これまでの避難情報等
5	 <p>災害発生 又は切迫</p> <p>緊急安全確保※1</p>	<p>災害発生情報 (発生を確認したときに発令)</p>
4	 <p>災害の おそれ高い</p> <p>避難指示※2</p>	<p>避難指示(緊急) 避難勧告</p>
3	 <p>災害の おそれあり</p> <p>高齢者等避難※3</p>	<p>避難準備・ 高齢者等避難開始</p>
2	 <p>気象状況悪化</p> <p>大雨・洪水・高潮注意報 (気象庁)</p>	<p>大雨・洪水・高潮注意報 (気象庁)</p>
1	 <p>今後気象状況 悪化のおそれ</p> <p>早期注意情報 (気象庁)</p>	<p>早期注意情報 (気象庁)</p>

※1 市町村が災害の状況を確実に把握できるものではない等の理由から、警戒レベル5は必ず発令される情報ではありません。
 ※2 避難指示は、これまでの避難勧告のタイミングで発令されることになります。
 ※3 警戒レベル3は、高齢者等以外の人も必要に応じ普段の行動を見合わせ始めたり、避難の準備をしたり、危険を感じたら自主的に避難するタイミングです。

警戒レベル5は、すでに安全な避難ができず命が危険な状況です。警戒レベル5緊急安全確保の発令を待ってはいけません！

避難勧告は廃止されます。これからは、警戒レベル4避難指示で危険な場所から全員避難しましょう。

避難に時間のかかる高齢者や障害のある人は、警戒レベル3高齢者等避難で危険な場所から避難しましょう。

緊急地震速報の訓練を実施します

特集一面の東日本大震災の体験談からも分かるように、緊急地震速報を見聞きしてから強い揺れが来るまでの時間は、ごくわずかです。その短い間に、慌てず身を守るなど適切な行動をとるためには、日頃からの訓練が重要です。

6月17日に国から配信された緊急地震速報を、全国瞬時警報システム(Jアラート)を通じて防災行政無線で放送する訓練を行います。防災行政無線や戸別受信機から、訓練用の放送文が流れますので、実際の災害と間違えないようにご注意ください。

訓練放送が聞こえた際は、実際に身を守る行動をとるなど、住民の皆さんも、訓練へのご参加をお願いします。

訓練を機会に、ご自身で、またはご家族・職場の方と一緒に地震対策について考えましょう。



● 訓練日時 6月17日(木) 午前10時頃

- 放送文
- 上りチャイム音
 - 「こちらは、防災まくらざきです。ただ今から訓練放送を行います」
 - 緊急地震速報チャイム音。
『緊急地震速報。大地震(おおじしん)です。大地震です。これは訓練放送です』
(3回繰り返し)
 - 「こちらは、防災まくらざきです。これで訓練放送を終わります」
 - 下りチャイム音

緊急地震速報訓練行動チェックシート

1. 訓練開始前の確認事項		2. 訓練後の確認事項		
緊急地震速報を受け取る手段を把握している	※訓練では、防災行政無線・戸別受信機で放送します。実際の地震の際は、上記に加え、スマートフォンや携帯電話等の緊急速報(エリア)メールも配信されます。	<input type="checkbox"/>	訓練用の緊急地震速報を聞くことができた	<input type="checkbox"/>
屋内の安全な場所の確認	例) 下にもぐり込める丈夫な机がある、周辺に落ちてきそうな物や倒れそうな家具が無い場所がある等、安全な場所を確認	<input type="checkbox"/>	あわてずに身の安全を確保できた	<input type="checkbox"/>
屋外等の安全な場所の確認	例) 外出時に普段歩いているところに倒れそうなものなど危険な場所がないか確認	<input type="checkbox"/>	安全な場所に避難できた(そのまま留まることができた)	<input type="checkbox"/>
訓練時に必要な行動について理解している	必要な行動をお書きください(いくつでも可)。 ()	<input type="checkbox"/>	訓練前に決めた必要な行動がとれた	<input type="checkbox"/>

緊急地震速報を受けたときの主な行動の参考例

地震速報	まず身の安全	2~5分 大揺れがおさまったら	5~10分 家族の身の安全を確認、確保	10分~半日 隣近所の安否確認 助け合い
●屋内では ・頭を保護し、丈夫な机の下など安全な場所に避難 ・あわてて外に飛び出さない。 ●屋外では ・ブロック塀の倒壊等に注意 ●自動車運転中は ・あわててスピードを落とさない。	●屋内では ・ガスの元栓をしめる。 ●山やがけ付近では ・落石やがけ崩れに注意 ●海や河口付近では ・津波に警戒が必要。高台に避難	●家族の安全の確認、確保 ・災害情報、避難情報の入手 ・避難のための出口の確保 ・ガラス片や転倒家具の注意	●倒壊家具や転倒家具の下敷きになっている人の救出 ・火災発生時の消火活動 ・けが人の救護	